

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（58）」

2. 日時：令和4年7月20日（水）10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官※、大井安全審査専門職、松末技術参与、馬場係員

北陸電力株式会社：小田常務執行役員 他9名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について  
敷地近傍の断層の評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について  
補足資料
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について  
データ集1（空中写真・ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BH  
TV）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、原子力規制庁のカイダです。
0:00:03	それではですね志賀原子力発電所 2 号炉敷地周辺の地質地質構造について、敷地近傍の断層の評価のコメント回答について、
0:00:17	ヒアリングをしたいと思います。
0:00:20	では北陸電力の方からですね、この資料の説明と、説明、内容の説明等をお願いしたいのでよろしく申し上げます。
0:00:33	はい。北陸電力の吉田です。
0:00:36	本日はよろしくお願いいいたします。まず資料の確認をさせていただきます。
0:00:41	資料は 3 点ございます。表紙に各コメント回答と書いたものが本資料となります。
0:00:47	その他としまして補足資料。
0:00:49	そしてボーリングデータ等を入れましたデータ集 1、この 3 点が、審査資料としてご用意してございます。
0:00:58	それではですね本資料に基づきまして前回のヒアリングからの変更点を中心に説明。
0:01:04	させていただきます。
0:01:07	まず私の方から、目次の前の概要のページの変更点を説明した後に、
0:01:13	本冊での本社でのす変更点を説明いたします。
0:01:17	時間はですね、全体 30 分弱を予定してございます。
0:01:23	それではまず 8 ページを、
0:01:25	ご覧ください。
0:01:31	これ福田断層に関する追加調査の位置図、
0:01:36	前回のですねヒアリングにおきまして、ボーリングデータの中で、この福田断層の
0:01:43	延長位置に近い位置にある破砕部を、を一部福良断層と、
0:01:48	評価しておりませんでした。これにつきまして、想定延長位置の考え方であったりとか、
0:01:56	それに合わせまして、その破砕部を作る断層ではないかというのを再度、
0:02:02	検討をしております。
0:02:04	具体的に申しますと、
0:02:06	ここですね、ダムの下 S II と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:12	小さいですが緑文字、S IIの深度94メートル付近の破碎部についてそういったコメントをいただいております。
0:02:19	ですね我々といたしましては、
0:02:22	今回のこの一連のボーリングで確認しました破碎部について、今一度、
0:02:27	すべてを再確認しまして、この追跡のルールをですね、これをしっかり明確にして、かつ幅広に福田断層の連続性を評価し直しております。
0:02:38	結果としましては、このご指摘をいただいたII、OS IIの、
0:02:43	この1ヶ所とですね、もう1ヶ所、このS9、
0:02:49	これ福田断層の二条に分岐する。
0:02:51	間に打ってますが、F9の、
0:02:55	ここでの1ヶ所、計2ヶ所について、前は福浦と評価していませんでしたが、
0:03:01	今回は福浦福田断層と評価を見直すこととしました。この、この2ヶ所です。
0:03:07	結果としまして、この断層の端部につきましては変更はございませんが、
0:03:12	OS給付近の断層トレースを若干見直し変更してございます。
0:03:18	この中身につきましてはこの後詳細に説明をさせていただきます。続きまして12ページ。
0:03:24	をご覧ください。
0:03:28	これ大坪がダムの基礎掘削面に分布します断層を、
0:03:34	の調査結果をまとめたページとなります。前回の左におきまして、
0:03:38	この断層をについて、その全体の位置図トレース
0:03:43	そして福浦断層や、この地形との関係、
0:03:46	あとは薄片観察、
0:03:48	の見え方等について多くの事実確認とかコメントをいただいております。
0:03:53	これを踏まえまして、我々としまして、この断層をに関する、
0:03:58	このデータを今一度しっかり確認しました。
0:04:02	しっかり論理立てですね、わかりやすく評価をし、見直してございます。
0:04:08	結果としまして、この断層につきましては後期更新更新世以降の活動はないと。
0:04:14	いう評価に変更はございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:17	この評価につきましても、詳細はこの後の本文の中で説明させていただきます。
0:04:22	これ以外も以外にもですね、前回コメントでいただいたものに関して、修正点も一つ一つ説明したいと思います。それでは引き続き、コバヤシの方から説明を、
0:04:35	させていただきます。お願いします。
0:04:37	栗城電力の小林です。
0:04:39	21 ページ以降について、前回ヒアリングからの変更点を中心に説明します。
0:04:45	33 ページをご覧ください。
0:04:51	前回ご指摘いただいたボーリング調査におけるマ加里計測に関して、
0:04:56	斜めボーリングの結果はこのページが初出であることから、
0:05:00	このページに、左下の紫の部分で追記しております。
0:05:04	コウモリ計測については、敷地内でのボーリング調査の実績、傾斜方向 ±1.5 度や、
0:05:11	敷地内と岩種が類似していることを踏まえ、影響が小さいと判断し、敷地近傍では未実施しております。
0:05:18	なお、掘削状況に応じて必要と判断した場合は実施することとしています。
0:05:24	この内容は、
0:05:25	その他の斜めボーリング調査においても共通となります。
0:05:30	59 ページをご覧ください。
0:05:37	反射法地震探査について、
0:05:39	反射断面における福浦断層の特徴を総括したページを追加しております。
0:05:45	福浦断層は不明瞭ながら、主に反射面の傾斜の変化、ずれ変形。
0:05:51	反射面率のパターンの変化を伴う広角で西傾斜する反射面の不連続として認められます。
0:05:57	また、記録の範囲において、School 断層及び A 測線における SH 以外に断層が推定されないことを明記し、以下の各測線の断面を示した提示においても同様の記載を追記しております。
0:06:12	80 ページをご覧ください。
0:06:18	浦断層南部の分布について、追加調査の考え方と、評価の流れを示したページです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:25	冒頭ご説明した通り、福浦断層に対応する破砕部について、
0:06:29	幅広い観点で再度検討を行い、
0:06:32	前回ご指摘を受けたボーリングをS2項、また、S傾向における破砕部を新たに福田断層に対応するものとして評価を見直しております。
0:06:42	これを踏まえ、ステップ2の文章中で、
0:06:46	矢印の右に記載したように、新たにOS2行でも、福田断層西側に対応する細部を確認したと記載しております。
0:06:55	また、右のほうの※1の、
0:06:57	なお以下で示すように、
0:06:59	OSKこうでも、副断層、西側に対応する破砕部があるものとして評価を見直したことを記載しております。
0:07:08	これに伴い、左図の断層トレースにOS9による断層確認位置を加え、断層トレースを一部変更しております。
0:07:16	このページの位置図においても同様の変更を行っております。
0:07:21	なお、今回、福浦断層に対応する破砕部と判断するにあたっての具体的な考え方については、後程出て参りますページで記載しております。
0:07:31	81ページをご覧ください。
0:07:34	プール断層南部の分布の調査結果について、
0:07:37	右の表の福浦断層西側について、S急行をS2項の記載を追加しております。
0:07:45	また、福田断層に対応する細部が認められないと評価しているFD2745、ルートマップGについても追加しております。
0:07:56	82ページをご覧ください。
0:08:00	下の断面図について、先ほどご説明したように、OSにOSキュウコウディスクール断層西側に対応する破砕部を確認したことを踏まえ、
0:08:09	赤丸でそれらの位置を追記し、断面上での副断層、西側の扇形もそれに合わせて修正しております。
0:08:18	90ページをご覧ください。
0:08:25	OS9項において、荒谷福浦断層西側に対応すると判断した細部について、このページで記載しております。
0:08:34	深度17.08から17.18メートル付近に、厚さ1.4から4.0センチメートルの破砕部が認められ、
0:08:41	佐治を破砕部映した破砕部からなります。
0:08:45	この確認位置は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:46	西側のリニアメント変動地形の延長位置に当たり、
0:08:50	当行傾斜が福田断層と調和的であることから、福浦蔵西側に対応する破砕部と判断しました。
0:08:57	また、92 ページにおいて、
0:09:00	OS2 項において、新たに School 断層西側に対応すると判断した細部について記載しております。
0:09:10	深度 91.61 から 62 メートルに厚さ 0.5 から 1.6 センチの破砕部が認められ、
0:09:17	粘土状破砕部及び固結した破砕部からなります。
0:09:22	この確認位置は、西側のリニアメント変動地形の延長に当たり、走向傾斜が福田断層と調和的であることから、佃断層西側に対応する破砕部と判断しました。
0:09:34	93 ページをご覧ください。
0:09:38	右上に記載したFD急行のコアのCT画像ですが、前は 14.75 メートルに画像の切れ目がありましたが、切れ目のない画像に変更しております。
0:09:49	98 ページをご覧ください。
0:09:56	福浦断層に対応しないと評価した細部に関する調査結果ですが、
0:10:00	上役の一つ目の丸において、
0:10:03	福浦断層に走向傾斜が調和的な破砕部。
0:10:07	依頼書のシュミットネットに、黄色に着色した部分に入る破砕部だけではなく、その範囲に近接する破砕部についても、性状の比較、隣接校等への、
0:10:17	連続性の観点から検討を行ったことを追記しております。
0:10:21	検討結果については、次ページ以降の表に記載しております。
0:10:26	また、98 ページの左上の小さな字で記載した、※に連続性の検討手順について追記しており、
0:10:35	到底延長範囲については、破砕部 1 から傾斜 $\pm 10$ の範囲とし、
0:10:40	到底延長の範囲。
0:10:42	財務が認められる場合は、正常、走向傾斜、層厚がプラスマイナス $30^\circ$ 傾斜が $\pm 15$ 度を比較し、
0:10:50	対応する破砕部か確認します。
0:10:54	101 ページをご覧ください。
0:11:01	右下の表にOS急行における細部性状の一覧を追加しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:08	141 ページをご覧ください。
0:11:18	141 ページが断層の調査項目を示したページですが、
0:11:23	右図の丸F の構台を追加し、
0:11:26	断層の南端の評価に用いており、
0:11:29	下の表にも Of を追記しております。
0:11:33	また、それに伴い、右図における断層をのトレースを長大地点まで延長して記載しております。
0:11:41	次の 142 ページが断層の調査結果を取りまとめたページとなります。
0:11:48	前回のヒアリングで、断層の長さ、断層との分岐、協力関係の有無、
0:11:54	断層をの場面を横断する鉱物脈の有無といったご指摘を受けたことを踏まえ、このページで、それに関する検討結果の結論を記載しており、
0:12:03	根拠となるデータ等は、次ページ以降に示しております。
0:12:08	以下、調査結果の結論を先にご説明します。
0:12:12	まず、夜久野断層 O の連続性の 4 枚目で、
0:12:16	断層の長さについて、
0:12:19	約 120 から 360 メートルの断層と明記しております。
0:12:24	また、断層大戸福浦断層の分布や運動方向について検討を行った結果、
0:12:30	両断層は共役の関係ではないと判断しております。
0:12:35	断層の活動性について、二つ目の丸の薄片観察の結果、
0:12:40	新たに粘土鉱物、
0:12:42	イライトスメクタイト i s 混合層、
0:12:45	少なくとも後期更新世に生成したものではない。
0:12:48	が、
0:12:49	場面を横断して分布し、場面が不連続になっており、
0:12:53	連続箇所の上 S 混合層にせん断面や引きずり等の変形は認められないとの記載を追加しました。
0:13:01	これらを踏まえ、下の黄色枠の評価を変更しており、
0:13:05	断層大野長澤最大でも約 360 メートルであり、
0:13:10	断層をと福浦断層は分岐や共役の関係ではない。
0:13:14	断層を挟んで高位段丘 I b 名に甲田さん、認められず、薄片観察の結果、
0:13:20	断層をの最新活動は、I S 本郷層の生成以前であることから、断層をに、後期更新世以降の活動がないと評価しております。
0:13:30	次ページ以降に、各検討項目の詳細を示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:34	143 ページをご覧ください。
0:13:40	断層をの連続性について整理したページを新たに追加しております。
0:13:46	大坪はダム規則昨年及びボーリングを S5 から 8 項において、断層をの文法約 120 メートル区間確認しており、
0:13:56	断層長さは最大でも、北端の O S 急行から南端のルートマップ J の約 360 メートルで評価しております。
0:14:05	次の 144 ページに、断層大戸福田断層の関係について、断層が、
0:14:12	福浦断層の分岐断層である可能性に関する検討を行っております。
0:14:17	吉岡岡 2005 に基づけば、
0:14:19	これらの断層の拘束が 20 度未満で、変位の向きが同じである場合、
0:14:25	両断層は同一の活動セグメントで分岐断層の可能性があると考えられます。
0:14:31	しかし、断層は福浦断層と高角で会合する関係にあり、
0:14:36	大阪府は 20 度以上となります。
0:14:39	また、断層の傾斜方向が逆で、断層は東側隆起、
0:14:44	プール断層は西側隆起の逆断層であり、変位の向きは逆になります。
0:14:49	以上のことから、断層は福浦断層の分岐断層ではないと判断しました。
0:14:55	次の 145 ページでは、これらの断層が共役断層である可能性を検討しております。
0:15:03	村田 1998 は、2 方向の断層の交差する計画を挟む方向に短縮する変位成分。
0:15:11	本格方向に伸張成分を持ち、最大の性質が同様なものを各断層底部としております。
0:15:19	断層大戸副断層の運動方向を確認した結果、断層は、計画を挟む方向が短縮する変位成分もそれに対し、
0:15:28	クール断層は、
0:15:29	過去挟む方向が伸長する変位成分を持ちます。
0:15:33	また、断層をと副断層の薄片を比較した結果、
0:15:37	断層をにおいて、副断層のような層状構造が観察されず、
0:15:42	断層をで認められる透明高度は、空断層と比べて不明瞭であることから、これらは破碎部の性質が異なります。
0:15:51	以上のことから、これらは共役断層ではないと判断しました。
0:15:57	次の 146 ページの、大沢ダム基礎掘削面の地質観察結果ですが、
0:16:03	短縮分が読み取りにくいとのご指摘を踏まえ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:07	右図の下部に矢印で、北西側安山岩南東側凝灰角礫岩であることを追記しております。
0:16:14	また、図の凡例を見やすくしております。
0:16:18	148 ページをご覧ください。
0:16:24	断層をの性状に関して、148 から 153 ページに、ボーリング A を S7 項、154 から 157 ページに、S8 孔による調査結果を示しておりますが、
0:16:37	各ページの上部にあるタイトルにつきまして、訂正がございます。
0:16:42	148 ページから 153 ページにおいて、上のタイトルの断層の性状、括弧を S7 号の後ろに、5 分の 1、5 分の 2 といった数字がありますが、
0:16:53	正しくはこれが 6 分の 1、6 分の 2 であり、
0:16:58	153 ページは、5 分の 5 とありますが、6 分の 6 になります。
0:17:04	また、154 ページから 157 ページにおいて、タイトルの過去を S8 項の後に、
0:17:10	5 分の 1、5 分の 2 ありますが、
0:17:13	四分の 1、四分の 2 となり、
0:17:16	156 ページが四分の 3、157 ページが 4 分の 4 となります。
0:17:22	これらについて、次回提出の資料にて修正させていただきます。
0:17:27	申し訳ございません。
0:17:30	50 ページをご覧ください。
0:17:36	S7 孔の薄片①で確認される断層をの性状として、
0:17:42	左上図の黄色枠のカンサ成長を追加して示しており、
0:17:46	前ページで示した、I N P O 除き、ほとんど P 面や R は面が認められません。
0:17:53	また、次の 151、152 ページにおいて、
0:17:58	先ほどの薄片①を作成した箇所をミリ程度削り込んだ位置で作成した学園②の観察結果を追加しております。
0:18:08	その結果、151 ページの右側に示した単ニコル、直交ニコルの写真において、
0:18:15	水色の点線で囲った位置で、
0:18:18	下盤側槍側の断層ガウジに認められる粘土鉱物が、
0:18:22	Y 面を横断して、上盤側の断層角れき落域に分布し、外面が不連続になっており、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:28	不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:18:35	また、152 ページの右側に示した写真においても、
0:18:39	水色の点線で囲った位置で、下盤側、左側の断層ガウチに認められる粘土鉱物が、
0:18:46	ばい煙の延長を横断して、液状二部分布し、
0:18:50	b u y 面が不連続になっており、
0:18:52	連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:18:58	また、これらの粘土鉱物については、隣接校である大江佐橋校での X R D 分析による結晶構造判定結果から、I S 降雨妄想と判断判定しております。
0:19:11	なお、
0:19:12	審査会合でお出しする資料では、これらの粘土鉱物と Y 面の関係をわかりやすくご説明できるよう、スケッチを加えたいと考えております。
0:19:22	157 ページでは、
0:19:24	O S 8 項の、
0:19:27	エクサル分析において、結晶構造判定結果から、I S 混合層と判定したことの詳細を示しております。
0:19:36	158 ページをご覧ください。
0:19:41	断層をについて、S 7、8 孔の薄片観察結果のまとめを追加しております。
0:19:48	S 7 項において、粘土鉱物 i s 混合層が Y 面を横断して分布し、Y 面が不連続になっており、
0:19:55	不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:20:01	また、
0:20:02	O S 7 項及びお医者、アキコでは、メールをながら、
0:20:07	表面構造が認められるものの、
0:20:09	粘土鉱物の配列から成る P 面と、周囲の粘土鉱物の境界が漸移的であり、
0:20:15	S 7 孔は、外面付近を除いて、ほとんど P 面や、或いは面が認められないことから、
0:20:21	5 面構造形成後に顕著の変質をこうむり、これらの構造が不明瞭になったと考えられます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:28	以上のことを踏まえると、断層の耐震活動は、
0:20:32	Ⅰ S 混合層、少なくとも、大きく申請後に生成したものではないの生成以前と評価しました。
0:20:40	166 ページをご覧ください。
0:20:48	66 ページで、断層をに沿って認められる直線的な崖地形の形成過程を考察しております。
0:20:56	直線的な崖地形は、福田断層西側を越えて、
0:21:00	断層東側付近まで連続して認められます。
0:21:05	浦断層西側の上盤側では、断層を境に、北西側が変質により、軟質化していることから、直線的な崖地形は演出部の境界である断層を境に、北西側が差別浸食を受けたことにより形成されたものと考えられます。
0:21:21	一方、福田断層西側の下盤側では、
0:21:25	このまんまで認められるような変質部の境界は認められないものの、直線的な崖地形が上盤側から連続して認められます。
0:21:34	この崖地形は断層をの北西側差別浸食を受けたことにより、水流の方向が曲がり、
0:21:41	攻撃斜面となることから、
0:21:43	下流側の崖地形にすりつくように侵食が進行し、連続する方向に崖地形が形成されたものと考えられます。
0:21:52	次の 167 ページにおいて、
0:21:55	有川に、
0:21:56	福浦断層西側の上盤側のコア写真。
0:21:59	右側に、下盤側のコア写真をつけております。
0:22:04	上盤側では、断層を境に、コアの深い側、つまり北西側が変質を受けていることがわかりますが、
0:22:11	下盤側では、そのような変質部の境界は認められません。
0:22:16	168 ページをご覧ください。
0:22:21	断層をの北東に関する検討結果ですが、
0:22:25	福浦断層西側の下盤側におけるボーリング O S 傾向について、
0:22:30	断層は認められないと評価したことについて、
0:22:33	右側の表の形で整理し直しております。
0:22:37	左に、 S5 から 8 口頭で認められる断層を能登区長。
0:22:42	右に、 S9 項の調査結果を記載し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:45	地形や岩相境界等の観点を合わせて検討した結果、S傾向で断層が認められないことを記載しております。
0:22:53	また、次の169ページ以降に、写真を掲載しておりますが、岩相境界等の位置が、家をわかりやすくするため、角管のコアの横に、
0:23:04	安山岩角れき質、または凝灰岩の部分を青と緑の線で明記しております。
0:23:11	171ページをご覧ください。
0:23:17	OS急行について確認された破砕部と、断層をとの対応について、走向傾斜、性状、連続性に基づく検討結果をまとめております。
0:23:28	断層大野大坪ダム規則昨年スケッチの結果から、N50位。
0:23:33	73SEを基準とし、その五行傾斜に調和的な破砕部、層厚が±30度、
0:23:40	傾斜が±15度、
0:23:42	下図の黄色塗りの範囲の破砕部について性状の比較、連続性の検討を行っております。
0:23:50	その結果、断層をに対応する破砕部は認められません。
0:23:54	173ページをご覧ください。
0:24:00	断層をの南端の調査として、塩崎調査ルートマップJを確認した結果、穴水累層の安山岩が分布し、それらは非破砕であり、断層は認められません。
0:24:11	次の174ページも、ルートマップJの結果となります。
0:24:16	以上が福浦断層の評価に関する変更点となります。
0:24:22	続いて、201ページをご覧ください。
0:24:33	201ページが土岐側南岸断層の分布を示した実数ですが、
0:24:38	右の地勢について、赤矢印で断層確認位置を示しており、
0:24:42	江尻氏が傾斜方向を示しておりますが、こちらを逆向きで記載してありますため、適正化して直しております。
0:24:50	同様の修正を各ページの地質に対して行っております。
0:24:55	なお、次ページの地質断面図における断層傾斜方向には変更ありません。
0:25:01	216ページをご覧ください。
0:25:10	宮永断層の北東たに関する調査結果ですが、前回のヒアリングで実習と御説明していたボーリング孔の結果を追加しており、
0:25:19	右図上部のIMのAと書かれた地点になります。
0:25:23	その結果について、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:25	契約の四つ目の丸の二つ目の文章に記載しており、
0:25:28	6 A に隣接し、
0:25:30	リニアメント変動地形の延長方向に分布するタニにおけるボーリング調査の結果、
0:25:35	本岩永断層に対応する破砕部は認められないと判断しております。
0:25:41	221 ページをご覧ください。
0:25:48	右下の地形断面図にリニアメント変動地形の延長方向のタニ地区、タニ付近にて一部凍結区間となっていることから、ボーリング調査を実施したことを追記しております。
0:26:00	次の 222 ページ以降がボーリング I M の栄光の調査結果となります。
0:26:07	ボーリング調査の結果と井川南岸断層に対応する破砕部は認められません。
0:26:13	次の 223 ページに、224 ページにコア写真。
0:26:18	124 ページに確認された破砕部の一覧表をつけております。
0:26:24	次は長沼層に朝対応する破砕部の走向傾斜については、
0:26:28	224 ページの下の※1 に記載したように、
0:26:31	リニアメント変動地形や、
0:26:33	反射法地震探査等の結果に基づき、N50 位、60 S E。
0:26:38	性状については、表の下に記載したように、
0:26:42	西方のボーリング T D 1 項に基づき、個別の破砕部を想定しております。
0:26:48	I M の栄光の破砕部は、上の表や、下のシュミットネットに示したように、いずれも土肥阿南断層と走向傾斜性状が異なることを確認しております。
0:26:59	本資料の説明は以上となります。
0:27:03	続いて、補足資料をご覧ください。
0:27:12	補足資料の、
0:27:13	2-2-1 の 109 ページ。
0:27:16	をご覧ください。
0:27:22	2-2-1 の 109 ページになります。
0:27:28	こちらの章で、福村断層以外の破砕部の連続性確認結果の詳細を示しておりますが、
0:27:34	前回ヒアリングのコメントを踏まえ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:36	各破砕部の隣接校における想定延長位置の範囲を図示した上で、対応する破砕部が認められないことを示しております。
0:27:45	同様の過失を本省の各破砕部のページで行っております。
0:27:50	続いて、2-2-1の、
0:27:53	314 ページをご覧ください。
0:28:04	2-2-1、314 ページですが、
0:28:08	大坪アダム基礎掘削面について、安心の記載をわかりやすくするため、
0:28:12	これせずを示しております。
0:28:17	続いて、
0:28:18	データ集をご覧ください。
0:28:25	データ集の1-2-110 ページをご覧ください。
0:28:39	1-2-210 ページが、OS 移行の中條ですが、
0:28:44	今回、福浦断層に対応する破砕部を認めたことを踏まえ、
0:28:48	94.61 から 94.62 メートルの破砕部の記載に、
0:28:53	括弧書きで、福浦断層と追記しております。
0:28:58	続いて、1-2 の 281 ページをご覧ください。
0:29:08	1-2 の 281 ページが、OS 4 行のボーホールTV 画像ですが、
0:29:14	深度 40.60 メートルの破砕部について、前回ヒアリングでのご指摘を踏まえ、
0:29:20	検討、走向傾斜を加筆しております。
0:29:24	続いて、1-2 の 539 ページをご覧ください。
0:29:35	1-2 の 539 ページ。
0:29:37	OS 急行の柱状図ですが、
0:29:40	先ほどのOS 2 行の柱状図と同じく、荒谷福浦断層と判断した。
0:29:46	17.08 から 17.18 メートルの破砕部について、括弧書きで福浦断層と追記しております。
0:29:54	資料の説明は以上となります。
0:29:58	北陸電力の野原です。
0:30:01	引き続きですね先ほど本資料の中の 151 ページ、152 ページになりますが、
0:30:09	断層の薄片観察結果、
0:30:12	こちらもちょうとスケッチを作成中でして今日はちょっと間に合わなかったんですが、
0:30:17	こちらの資料の方を画面を共有させていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:21	ちょっと詳細にこの状況を説明させていただきたいなと思っていますが、よろしいでしょうか。
0:30:29	はい、どうぞ。
0:30:48	クリック電力スモリです。
0:30:50	それでは鉱物脈の、今回新たにお示ししました抗力について、詳細にご説明いたします。
0:30:57	まず 151 ページをお願いします。
0:31:00	画面共有しておりますけれども、こちら、今
0:31:05	左側にお示ししております、この薄片の全体写真ですねこちら、前回ヒアリングでお示したのから、
0:31:12	あれが薄片 1 になり①になりまして、そこから 2mm ほど削り込んだ位置で、新たに作成した薄片②を今回お示ししております、
0:31:20	その中で、全体写真見ていただきますと、下の方、この緑線が、Y 面を呼んでいるところなんです、下の方でこの Y 面が不連続になっていると。
0:31:31	観察しているところについて、鉱物脈の横断が確認できましたのでそれを今回資料でご説明しております。
0:31:39	スケッチは今作成中なんですけれども、今回この写真でお示ししておりますので少し補足的なことをご説明させていただいて、
0:31:47	いただきたいなと思っております。
0:31:51	この黄色の一番左の写真で黄色の部分を拡大したものが、
0:31:56	真ん中の、
0:31:57	単にこれ直交ニコルになっておりまして、
0:32:04	この今黄色の四角のここ、この部分をさらに拡大したものが一番右の、
0:32:09	写真になっております。
0:32:12	こちらタニ＝が見やすいんですけども、
0:32:15	この赤線で示してる範囲こちらが
0:32:18	粘土鉱物が多く比較的細粒な、断層ガウジと書いてますけれども、ここと、右側の青線、
0:32:24	この断層があると比べて比較的掃流な、断層角れきと書いてますが、
0:32:29	この範囲が、色調の違いですね、この部分に境界があると考えております。
0:32:36	この業界に Y 面が観察されるんですけども、それが、こちらの
0:32:45	今盛田の方でゆっくり囲っておりますけれども、こちらの部分、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:50	こちらの部分ですね、栗城が右側の断層隔壁側に、脈状に分布して、
0:32:56	ここの部分が不連続になっているというような状況が確認できます。
0:33:02	こちらこのように右の方に脈状に行って、
0:33:06	断層角の中にも、粘土鉱物がじわっとその染み込んでいるような脈状に分布しているような状況が確認できます。
0:33:18	こちらについてはスケッチで、
0:33:21	今ご説明したような状況がわかりやすいように、作成して、
0:33:25	次回にはお示ししたいなと考えております。
0:33:31	またですね、この真ん中のところを見ていただきまして、今お示ししたのが、下の直交ニコルでいうとこの辺り、
0:33:38	今ポインターがある辺りなんですけれども、この少し下、
0:33:42	ポインターでお示ししているこの辺り、
0:33:44	でもですね、同様の横断形状が確認できますので、こちらについても次回会合ではスケッチと写真に合わせて、ご説明させていただければなと思ってございます。
0:33:57	続きまして、152 ページをお願いいたします。
0:34:04	こちら 152 ページ一番左見ていただきまして、この黄色の四角の範囲を拡大しておりますけれども、
0:34:11	1 個前の 151 ページでお示ししていましたのがこれの少し上、
0:34:15	になっております。
0:34:16	ですので 151 ページでご説明したところから、少し範囲を下に下げました範囲が、場所が今回 152 ページになっております。
0:34:26	こちらではですね全体写真見ていただきますように、緑の線がほとんど書けません。
0:34:31	で、かなり広い範囲で、変質をこうむって Y 面が不連続になっていると、そういうふうに観察してございます。
0:34:40	真ん中のタニ＝直交 2 ゴールで見ていただきまして、
0:34:45	この利益の、この辺りまで、
0:34:47	駅の横あたりまでは毎年観察できるんですが、
0:34:50	その下の方になっていきますと、直線的連続的なせん断面が確認できないというふうに観察してございます。
0:34:58	その部分を、
0:35:00	さらに拡大したものが一番右の、
0:35:02	写真になっておりまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:06	粘土鉱物が一番光角度で見やすいようにちょっと回転しておりますけれども、60度ほど改善しておりますが、
0:35:13	今、ポインターで示しております。
0:35:17	この辺りが、毎年の、
0:35:21	延長位置に当たると考えておまして、この場所にせん断面や引きずり等の変形は認められないというふうに考えてございます。
0:35:30	あとですね
0:35:31	全断面の横にですね、割れ目が、
0:35:34	観察されます、下の上のタニイコールだと見やすいんですが割れ目が監査されております。
0:35:39	またこちらについては弯曲しておまして、割れ目同士がきだと、
0:35:44	合わせるような、計上しておりますので、こちらせん断面ではなく、問われたの開口部かなというふうに考えております。
0:35:52	とはいえY面の延長位置付近にありますので、
0:35:58	安全側に考えまして、この割れ目が途切れた部分、この下の部分ですね、こういったところでも確認してみましても、
0:36:05	粘土鉱物が、
0:36:07	この延長位置を横断して、
0:36:09	奥の方まで続いていると。
0:36:11	いう状況が確認できております。
0:36:15	ですのでこちらについてもスケッチをお示ししまして、よりわかりやすいような形で、次回、ご説明させていただければと考えてございます。
0:36:24	説明は以上です。
0:36:32	はい。規制庁の甲斐です。資料の方の説明は一通り今野で終わりということよろしいでしょうか。
0:36:41	はい。
0:36:43	はい終わりでございます。
0:36:45	はい。規制庁の甲斐ですわかりましたじゃこちらの方から確認させていただきます。
0:36:54	ついでと言っただけは何なんですけれども、今ちょうど出てきたところの話で、確認なんですけれども、
0:37:01	151ページの薄片の写真があって、
0:37:07	今
0:37:10	何て言いますか、青い破線で囲んであるところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:14	脈だというお話なんですけれどもこれまた
0:37:18	いずれスケッチは出てくると思うんですが、
0:37:21	伴、
0:37:24	途中途切れずに繋がってるのが確認できるんですかね、ちょっとこう、途中こう薄くなってるような色合いが薄くなってるようにも見えるんですけども、これ
0:37:36	まわしたりすると、これは繋がってるんだということで、
0:37:40	説明だったんでしょうか。
0:37:43	北陸電力津守です。はい。繋がっていると観察しておりまして、特にタニコードですといろんな薄い部分と濃い部分というところで、敷地の違いでわかりますし、クロスで見ましても、
0:37:56	今回補足資料の方に回転写真もつけておりますけれども、補足資料の、
0:38:01	2.2-1の316ページ。
0:38:07	の方に、
0:38:10	つけておりますけれども、
0:38:12	こちらも
0:38:14	直接は写真等で
0:38:17	私ども繋がってる様子はわかるんですけれども、やはり実際見ていただいた方が特にわかりやすいかなと思いますので、こちらについても繋がってる様子、実際にご確認いただければよくわかるかなと思います。
0:38:30	以上です。
0:38:35	はい。規制庁のカイダです。わかりましたその辺は
0:38:40	実際にそうなんだっていうことが
0:38:44	というところは、説明の方、これこれからスケッチもつけられると思うので状況がわかるような形でお示ししたいので、
0:38:54	よろしく申し上げます。
0:38:55	では本編資料の方を、今回差分が中心だということなので、まず私の方から、
0:39:04	ページに沿った形で確認をさせていただきたいと思います。
0:39:10	根井。
0:39:11	まず、58ページとか59ページ、58ページなんですけれども、
0:39:19	反射法の説明があり、あると。
0:39:24	58ページの上の箱書きのすぐ下に、ちっちゃい字のポツのなおというところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:34	反射法地震探査のこのスペック的なことが、
0:39:39	書いてあると、前回確認したところ、花崗岩の上面が、本来ならば、ひよっとしたら 1200 メートルぐらいに見えるかも。
0:39:50	敷地の中では、そういったものが見えてたけれども、
0:39:54	今回どうかという話だったんですけれどもそれは見えないと。
0:40:00	ということなのですが、
0:40:03	今回は、
0:40:06	何て言いますかね、前回 30 メートルぐらいのずれみたいな話、分解能だっという話だったんですけど、今回の分解能的には、
0:40:15	どのぐらいなんですか詳しくなったけれども、上の方しか見えてないというそういうことなんだと思うんですけども、今わかったら、
0:40:25	どのぐらいかな、前は 32 から 35 とかそういう話だったと思うんですが、
0:40:33	保育電力のコバヤシです。
0:40:35	反射法の分解能というお話ですが、
0:40:38	今回
0:40:41	追加しております。測線ですね、は、分解能が概ね 20 から 25 メートル程度、それは
0:40:49	卓越周波数を出して、そこから 4 分の 1 は所則で出した鉛直の分解能ということになります、そういった数値になっておりましてただ、B 測線に関しましては、
0:41:01	10 メーター程度の分解能と少し細かく見えていると。
0:41:06	いう程度の分解能になっております。
0:41:09	以上です。
0:41:12	はい、わかりましたじゃ、それも、
0:41:15	どこに書くかは別としてわかるようなところにしておいていただきたいので、
0:41:22	よろしくお願いします。
0:41:25	それとあと、59 ページで、福原断層のほかに断層はありませんでしたという、
0:41:33	説明があります。
0:41:36	ちょっと
0:41:39	福浦断層自体もかなり
0:41:42	すごい明瞭に見えるわけでは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:44	ないけれども何とか見えてるというお話かなと思います。それと、先ほどのちょっとお話したんですけれども、
0:41:53	江藤花崗岩の上面にあった断層っていうのが、
0:41:59	20度とか30度ぐらいだったと思うんですけれども、
0:42:04	もしそれがこう上伸びていってきれば、そういった傾斜で、
0:42:09	断層みたいなものがあるやなしやっていうのが、
0:42:12	多少今度分解能が良くなったということで、
0:42:16	その有無がわかるかと思うんですけれども、
0:42:21	少なく、福浦測線とか、測線とかだったら、ひょっとしたら、
0:42:26	とらえられるかもしれないですけれども、そういったものもないということ。
0:42:32	でよろしいんですかねそういった低角のやつというふうに言ったものも、
0:42:39	公権力のコバヤシです。
0:42:41	衛藤。今おっしゃった観点で、我々の方でも、そういった敷地内の調査で見えていた低角断層が、
0:42:51	上に向かって伸びてきてないかという観点では見ておりまして、その結果、反射面の不連続であったり、あとは、
0:43:00	そういった形状ですね、特に今、
0:43:03	お話いただいたような測線を特に見ておりまして、67ページ。
0:43:08	ご確認いただければと思いますが、
0:43:17	こういった測線を見たときに、例えば、
0:43:22	地下の方から、
0:43:24	連続的に不連続面が述べてきていて、その周りで反射面が
0:43:30	系統的にどちらこう方向に傾斜すると。
0:43:33	いったような傾向は見とれないと、福田断層に関しましては、こちらしておりますが、その他の断層に関しては、つけていないという解釈になります。以上です。
0:43:49	はい。
0:43:51	規制庁のカイダです。
0:43:54	わかりました。
0:43:55	今の測線のところなんですけれども、
0:44:03	そうですねそういった低角降格含め、断層がないということ。
0:44:09	だと思うんですけれどもその辺の説明は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:14	また、また書きですから地下浅部にかけて分岐派生するような構造は認められないという、このことを今おっしゃったんですか。
0:44:26	これは福村事務局長、すみません、電力の小林です。こちらすみませんどちらかというとその副断層として引いたところから、敷地内の方へ、
0:44:37	向かっていくような構造という観点で、の文章ということになります が、
0:44:42	今ご指摘いただいたような観点でも、
0:44:47	わかるような記載を追加したいと思います。
0:44:52	すみません失礼しました。えっとですね、一応枠外の右の方に、なお の、
0:44:58	ところに、
0:45:00	記録の範囲において、副断層でエスエイチ以外に、
0:45:04	ダンサー推定されないというふうに記載しておりまして、すみませんこ ちらがそれに当たる記載になります。以上です。
0:45:13	はい規制庁中ですわかりましたこの
0:45:16	もうないですよってということがひとくくりで書いてあるってことで、
0:45:20	承知しました。
0:45:24	えーと、
0:45:25	ではですね引き続き、81 ページをお願いします。
0:45:34	で、これ膨らまそうのまとめのページかと思うんですけども、
0:45:39	ちょっと表記の仕方で、改めて確認なんですけれども、
0:45:44	この図の真ん中の図ですね。
0:45:50	C 測線、B 測線で、断層を確認したところに赤い線の、
0:45:57	印がついているかと思うんですけども、
0:46:00	これ
0:46:02	傾斜方向は、反射記録から、
0:46:06	今わかったのかもしれないんですけども、
0:46:09	この層厚はどうやって出したんですかね。
0:46:15	北陸電力木村です。反射測線の赤色の
0:46:20	上に書いてある赤色の断層のマークのことですけども、
0:46:26	傾斜方向は反射だけの記録から読み取れるんですけども、層厚の方向 は、反射の記録からわかりませんので、背景の、
0:46:37	プロの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:38	破線、これが今考えている断層のトレースですけども、それと平行な方向に、
0:46:46	層厚の方向を向けて図示しております。そういったルールで図示しております。以上です。
0:46:54	はい規制庁のカイダです。
0:46:56	他のところは露頭とかボーリングとかで確認した。
0:47:02	方向、そこを多分反映してるとして要は、
0:47:07	実際に確認されたもの。
0:47:10	ていうところだと思うんですけども、
0:47:12	この
0:47:13	宗測線のところを書いてあるのはまたちょっと意味合いが違って推定した線に対して、平行な量に変えたということで
0:47:22	実勢確認したわけではないので、
0:47:25	何か意味合いが違うのであれば、ちょっと印を分けるなりとか、
0:47:30	していただきたいんですけどいいですか。
0:47:36	小栗の木村です。ちょっとそういったことを区別できるように、表現の方を工夫したいと思います。以上です。
0:47:45	はい、わかりました。
0:47:47	その辺りはよろしくお願いします。
0:47:52	ちょっと飛ぶんですけども 140。
0:48:00	あ、146 ページをお願いします。
0:48:09	146 ページで、
0:48:15	これスケッチで、安山岩とか凝灰角礫岩ってところの、
0:48:21	図の中にこう書き矢印で、
0:48:25	両矢印で、範囲を示していただいたんですけども、
0:48:32	これちょっとこう、電子ファイルをこうずっと拡大して見てみると、
0:48:37	確かにこの安山岩って書いてあるこの
0:48:40	S、この断層っていうんですかねこの
0:48:44	これを境に上側全部こう、V マークが書いてあって、安山岩っていうのをV マークで、
0:48:52	下は確かにこう三角マークが全部書いてあって一部ちょっとV のところもあったかもしれないですけど全部大体三角だったんですけども、
0:49:04	上は全部あなたが西田凝灰角礫岩だということで書いてあるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:12	これ、上安西が上まで全部安山岩っていうことでいいんですか。
0:49:24	北陸電力スモリです。
0:49:25	146 ページこの右のスケッチの範囲、その中で言いますと、この断層、 今、
0:49:31	S というふうにスケッチが書いてあって、
0:49:36	北東から南西に伸びている線ありますけれども、ここを境にして、僕、
0:49:42	北西側が、
0:49:43	V 安山岩で、
0:49:45	南東側が、三角の凝灰角礫岩という、そういうこの範囲の中でいうと、
0:49:51	その範囲が全部、
0:49:54	北西側が安山岩というふうな意味で書いてございます。
0:49:58	以上です。
0:50:03	はい。規制庁のカイダです。わかりました。
0:50:09	なんかこう網掛けみたいなして色がわかるのにとかは、なかなか難しい ですか。図、支出によって色が違うようにするとかっていうのは、
0:50:22	はい。北陸電力の羽田です。
0:50:24	今ほど示すような協会だけではなくて実際の分布がわかるように、網掛 けですとか、色塗りですとか、そういった資料を作成したいと思いま す。
0:50:34	以上です。
0:50:36	はい。規制庁の甲斐です。わかりましたこれちょっと間ん時間を見て可 能であればっていうもし作業に時間かかるのであれば
0:50:45	うん。
0:50:45	ていう、ちょっと難しければ結構ですけどそこはちょっとわかりやすさ の観点でってことで、可能であればということをお願いします。
0:50:53	それと後ですねえと。
0:50:55	この後の説明で出てくるんですけども、
0:50:59	ここの断層境に小変質が強いのと、強くないのっていうか、非変質のと ころが接していて、そこは差別侵食だっという説明があったと思うんで すね。
0:51:11	で、この底盤のスケッチとかを、
0:51:15	ここ、このサイズじゃもう見えないんですけど拡大すると。
0:51:19	だから岩級区分も書いてあって、
0:51:22	C Aとかシーズ、C'AとかC D、BとかB、C Bとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:29	どうも岩級区分が書いてあって、
0:51:32	確かにこの線を境にした側には、
0:51:36	B、B級とか、一部C級っていうのがあって、
0:51:40	上は大体C、C級というかC Aとか書いてあるんですけどC級でD、D級まじり。
0:51:48	みたいなのところもあるんですが、
0:51:53	これは、その変質を、
0:51:56	によって違うということであれば、岩級区分もわかるようにした方がここを境に、硬さちゅうか岩盤の状況が違うっていうのも、
0:52:06	わかりやすくなると思うんですけども、そっちの方はどうですか岩級区分で色分け、これはちょっと細かい、
0:52:15	ことになると思うんですけども、
0:52:19	北陸電力の野原です。
0:52:21	先ほどの地質分布と同じくこちらも岩級区分をわかるように対応したいと思います。以上です。
0:52:28	はい。規制庁のカイダです。そうですね非浸食でっていうことであれば、そういったところが可視化できた方が、
0:52:37	わかりやすいのでその点、可能であればお願いします。
0:52:43	ちょっと関連してなんですけれども、
0:52:47	ちょっと飛ぶんですが166ページとか、
0:52:51	167ページの説明になるんですが、
0:53:05	まず、
0:53:06	安山岩と凝灰角礫岩っていうのが、
0:53:10	接していますという説明で、
0:53:13	あちこちに出てくるところで、
0:53:16	はい。
0:53:20	まあ、その前の前のページ164ページとかでも、
0:53:25	穴水累層の中に安山岩と安山岩質火砕岩と安東凝灰角礫岩、そして、
0:53:32	安山岩質火砕岩凝灰岩を3種類あって、
0:53:37	この、今この場所っていうのは、
0:53:41	っていう、つまりは、安山岩っていう、
0:53:45	ところの分布の範囲なんですけど、
0:53:48	この中に、
0:53:51	安山岩質、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:53	火砕岩の凝灰角礫岩というのも、部分的に、
0:53:57	あるという説明なんですか。160。
0:54:01	6 とかの説明を見ると、
0:54:04	あるんですが、この関係をちょっと地質にかけるぐらいの財布ものなのかな、なんていうか、安山岩の中にも、凝灰角礫岩も含めた上で、
0:54:15	表現してるのかちょっと関係がわかりづらいんですけど、説明いただけますか。
0:54:22	北陸電力木村です。ちょっと今の岩相分布につきまして、51 ページをご覧くださいんですけども、
0:54:34	51 ページに、
0:54:37	断層群等を調べた露頭のデータを示したルートマップを示しております、
0:54:42	これで、ピンク色で示したのが安山岩、
0:54:47	I A E A になりまして、
0:54:49	紫色で示したのは、
0:54:51	園長会角礫岩。
0:54:56	あいあい A T の方になりますんで、この分布を見ますと、この大坪川ダムの付近は、ほとんどがピンク色、
0:55:05	が卓越しております、ちょっと部分的に紫色ありますけども、
0:55:10	ほとんどがピンク色ということで、
0:55:12	地質図の、
0:55:15	レベルでは全体がピンク色の安山岩という分布、
0:55:22	で示しております。ただ、局長的にこのように、凝灰角礫岩が分布していることがありまして、
0:55:29	今ほど、大坪がダムの基礎掘削面でもありましたように、
0:55:36	に、
0:55:38	ちょっと局所的に凝灰角礫岩ありましたけども、
0:55:42	そういった、局長的に業界だけで議案は分布しているということは、
0:55:47	確認しておりますが、主として安山岩が分布しているということで、
0:55:52	その内数の方は、1 色で書いております。
0:55:56	以上です。
0:55:58	はい規制庁の甲斐です。わかりました I A E A の中に部分的にあるものの、
0:56:04	中の境界であるということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:09	地質図レベルと同等レベルの違いだということで、
0:56:13	理解しました。
0:56:15	その上でですね 166 と 167 ページの、
0:56:20	御説明で、
0:56:22	ここは府の 2 ページ含めていろんなところで出てくる説明なんですけれども、
0:56:28	片方が強変質を受けて、もう片方があんまり変質を受けてないと。
0:56:35	というような説明なんですけれども。
0:56:39	この安山岩の方側が変質を受けてるんだというような、
0:56:45	その根拠となるデータっていうのは、
0:56:50	ちょっと宮田見渡すとあんまりこう長いような気もしてですね。
0:56:55	例えば柱状図に変質とか、硬さっていうこう欄もないし、
0:57:02	変質してますよっていうのは、
0:57:05	何かこうデータはどっかついてるんでしょうか。写真を見れば確かに色が違うっていうのは、見て取れるんですけれども、
0:57:13	変質してますやわらかいですっていうのは、
0:57:16	の、
0:57:17	根拠データみたいになっていうのは、
0:57:20	どこか資料の中にあるのでは、教えていただきたいんですが。
0:57:29	北陸電力 1 社です。
0:57:31	おっしゃられるような、ですね変質の程度ですね、そういうものがわかるデータにつきましては今回写真以外はおつけしておりませんで、
0:57:40	前回現地調査後に敷地内断層の方で、柱状図のほうに、変質の程度っていうものを記載させていただきましたけれども、今回も、
0:57:50	平素程度について、柱状図にちょっと追記させていただくような形で対応させていただきたいと思います。以上です。
0:58:02	はい規制庁のカイダです。
0:58:04	変質してるっていうのは通常図等に
0:58:09	今、追記できるようなデータはどっかでちゃんと取得してて、
0:58:15	資料上今出てないっていうだけの、
0:58:18	ことで、
0:58:20	あとその変質してるから、やわらかいんだっていうようなことも、何か、
0:58:25	データとしてはあるということでよろしいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:32	北陸電力1社です。
0:58:34	はい。江藤書記観察の段階ではそのようなデータもありますので、今回の柱状図に、また整理したいと思います。以上です。
0:58:45	はい。規制庁のカイダです。ゆくゆく
0:58:49	どうなるかどの程度の範囲まで示すかは別として今回この説明されたい。
0:58:58	今後、
0:58:59	OSシリーズの項とかについては特にこの本編の中とかで、
0:59:05	ここから167ページとかも、変質部変質部っていうふうに矢印はしてあるんですけども、
0:59:13	167ページの
0:59:16	右側のこの旧だって下の方は似たような色だし、
0:59:21	この変質、
0:59:23	ンがどの範囲でしてて、
0:59:25	どういう状況なのかっていうところは、わかるような、
0:59:30	何か工夫をしていただきたいので、
0:59:34	へえ。
0:59:35	よろしくお願いします。
0:59:42	それでは引き続き、私の方から、同じような形で168ページをお願いします。
0:59:55	で、断層の特徴ということで、
1:00:00	整理されてるんですけども、
1:00:05	特徴が結局は、
1:00:08	表には整理してあるんですけども、
1:00:13	凝灰角礫岩と変質をこうむる安山岩の岩相境界にある断層、
1:00:20	ていうのが一つと。
1:00:23	厚い未固結な
1:00:26	破碎部を伴うっていう。
1:00:28	この上の箱書きの一つ目の丸に特徴というところで、
1:00:32	見るとそう。
1:00:35	その2点かと思うんですけども領海角礫岩と強く変質をこうむる安山岩の岩相境界に認められると。
1:00:42	それと厚い未固結の破碎を伴うと。
1:00:45	あと走向傾斜もあるとは思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:49	性状としてはこの2点が特徴だということで考えられてるってことで、
1:00:57	と読めるんですけどもそう、そういうことでよろしいですか。
1:01:05	小栗秋葉です。その2点の性状と、あと、地形との関係ですけども、直線的な崖地形、
1:01:16	の直下といいますか、崖地形に対応する位置に、認められるっていうのが、断層の一つの特徴であるというふうに考えております。
1:01:28	以上です。
1:01:30	はい。規制庁の甲斐ですそういった位置関係というところも含めて、
1:01:35	断層自体の性状としては先ほどの2点。
1:01:41	ぐらいかなと読み取れたんですが、
1:01:45	例えば、169ページの写真を見ると、さっきのお話も、
1:01:52	とも関係するんですけども、
1:01:55	33メートルぐらいから下ってというのはちょっと白っぽくなって、
1:02:00	これは
1:02:02	こっちは変質じゃないっていう、変質なんですかそれとも変質じゃない。
1:02:07	ないのか、もともとの色が白いのか風化で白くなってるのか。
1:02:12	とか、その辺り後程、
1:02:14	データとしては出てくると思うんですけども、ここの辺りちょっと今わかれば教えていただきたいんですが。
1:02:29	北陸電力喜納です。今ほどの
1:02:33	ご指摘の箇所ですけれども、若干変質を受けて白っぽく見えているところはありますけども、
1:02:41	断層の下盤側で、先ほど167ページの写真で見られたような、
1:02:48	断層の下盤側ほどの強い変質は受けていないと。
1:02:53	ということで、そこは区別してしております。その辺り、変質の程度ですとか、柱状図等でわかるように、記載、
1:03:04	加えたいと思います。以上です。
1:03:08	はい。規制庁のカイダです。わかりましたじゃ変質でによる副差別侵食だっていうご説明であれば、
1:03:15	そういった程度も含めて、あと断層が、
1:03:19	硬いところと、変質部との境界にあるんだっていうところが、
1:03:25	ぱっと見わかりやすいような形での、
1:03:27	資料で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:29	構成していただくようお願いします。
1:03:33	あと、引き続きちょっと戻るんですけども、160ページをお願いします。
1:03:50	この断面で幾つか最初よりちょっと増えたということで、幾つか断面があるんですけども、
1:04:01	一番下のD、
1:04:04	Dですね、
1:04:06	の断面、
1:04:07	これは追加では、戸田切っていただいているやつと思うんですけども、
1:04:13	この
1:04:15	⑭って書いてある真ん中の瘤のところの中、小さい注意書き、
1:04:20	この面はっていう書いてるところなんです、
1:04:24	これは
1:04:26	趣旨としては、
1:04:33	どういうことなんですかね侵食後に侵食されたんで低くなってしまいましたという、
1:04:39	ことでよろしいんですかこの⑭のところは、もともとできたときから低いのか何か元から、
1:04:49	低かったのかってというのが式侵食されて書いてあるのでも低くなったということでよろしいですか。
1:04:59	グループ電力の小林です。ここの注意書きの移動ということですが、射程、射的に、ちょっと、
1:05:08	高位段丘I bの中の1部分ではなく、低い部分だったのではないかというふうに考えております。で、一応この意味としましては、この面というのが、
1:05:21	江藤、この大坪が、
1:05:24	ですね、鳥羽ダムのある大坪ダム落ち葉というのが、この辺りでは比較的大きな方になりまして、
1:05:32	その河川のすぐ脇にあるということで、もともとのこの段丘面の基となる平たん面があった時代に、そもそもちょっと、
1:05:43	谷状に削られていたようなところで、
1:05:45	もともとちょっと周囲に比べて低かったのではないかと。あとは、
1:05:50	この
1:05:51	今⑭面の周りですね、2、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:55	面が繋がってないところがあるということで、
1:05:58	本当はもう少し高い部分が、例えばその西の方に行けば繋がっていただく。
1:06:05	かもしれませんが、そういったところも、削られて初生的に低い部分が残っているのではないかという意味でこちらの、
1:06:14	解釈を記載しております。
1:06:16	以上です。
1:06:20	はい。規制庁のカイダです。
1:06:24	この場所和気大坪側ダムのトレンチのところかなと思うんですけども、
1:06:33	確かにですね例えば 40、
1:06:36	ページぐらいのところを見て、
1:06:39	見ると、
1:06:47	断層、さっき線が通ってたところっていうのはこのスケッチでいうと、左側、このスケッチの左側にさらにちょっと左側 9 位かなと思うんですけども、
1:06:59	本来ならこれ
1:07:01	さっきの他のこの辺りの、
1:07:04	所等の露頭というか段丘面調査とかを、
1:07:08	結果を見ると、大体 3 メートルぐらい。
1:07:12	堆積物があるんですね。
1:07:15	今回堀田、
1:07:18	南側の堀田シリーズを、S、
1:07:25	3 とか、
1:07:27	4 とか 3' とか、
1:07:29	とかあと、
1:07:30	露頭調査で⑩とか⑱地点というのが近くにあるんですけども、大体 3 メートルとかあるけどここは、
1:07:40	この 40 ページのスケッチを見ると、
1:07:43	左の方に行くとはほとんどもう堆積物が削られたかなくなったのか、元からなかったのか、段丘堆積物というのが、
1:07:52	なくなっちゃってるっていう状況で、
1:07:58	ここの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:59	ここは先ほどの説明だと削られたってよりも元からこんな少なかったという、
1:08:07	ここなんですか後から削られちゃったという。
1:08:11	ことじゃなくてもとから削っ低かったということなんでしょうか。どっちかっていうのをちょっと。
1:08:18	もう改めて確認したいんですけども。
1:08:22	堀クリニックの小林です。
1:08:24	衛藤。
1:08:25	この福田断層の今、そうですね 40 ページの左側の副断層の上盤側の方ですね。こちらに関しては、堆積物がもともと薄かったのか、それとも、
1:08:36	削られて薄くなったのかというところはちょっと、今の時点では、なかなか判断が難しいかなとは思っております。で、一応考え方としましては、
1:08:47	衛藤砂層等砂れき層が、段丘堆積物で、おそらく
1:08:54	当時の改正で、目ができた時にあった堆積物だろうと。
1:09:00	で、少なくとも下盤側に関しては、今おっしゃられたように厚く堆積物が残っておりますので、そんなに侵食を受けていないだろうと。
1:09:09	ただ、硬度が低いので先ほどご説明した通り、ちょっと初生的にここは、周りより低かったのではないかと考えていると。上盤側の方に、
1:09:19	関しましては、ちょっともともと堆積物自体が薄かったのか、
1:09:25	浸食されたのかというのは、ちょっと今の時点では判断できないと、これはその上盤側でもありますので、
1:09:32	ちょっと断層の隆起の影響を受けて、そのあとに、削られたということも考えられますが、
1:09:39	初生的に薄かったかどうかはちょっと判断できないと、いうふうに考えております。以上です。
1:09:46	はい。規制庁の甲斐です。わかりました
1:09:49	ちょっといずれにしてもこの 160 ページの d 断面っていうのは、低いようなんだけど本来他んところは、
1:09:57	3メートルぐらいの堆積物があって、ここだけそれが、
1:10:01	なくなっちゃってる状況だっていうその他んままかさ上げされてないっていう。
1:10:07	ような状況も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:09	ちょっともうそうなんであればわかるような形で、
1:10:12	どういうふうなんでそうなったかっていうのは別として、堆積物が他ん とこはあるけどこは、
1:10:19	ない状況で、その分低いんだっていうのは、わかるように、何かちょっ とその辺りはもうちょっと書き方を、
1:10:27	工夫をしていただきたいなど。
1:10:30	思いますけど、よろしいですか。
1:10:37	電力の小林です。了解いたしました。
1:10:41	はい。その点よろしくお願いします。あと、162 ページも同じような、
1:10:46	状況なんですけども、
1:10:50	1 断面というのは、同じ一面だけけれども、ここ。
1:10:55	低いと。
1:10:57	これは形成時から低かったんだというお話なんですけど、
1:11:05	今であれば何か別の面じゃないかなっていうような、
1:11:10	10 メートルぐらい低い。
1:11:11	で、
1:11:13	いいようにも見えたんですけどもこれ一面だということは
1:11:19	そこは間違いないっていうか、
1:11:22	何か検討した上でしっかり、
1:11:24	こういうふうなことんなってるってことで、
1:11:27	いいんですか。
1:11:31	教育電力の小林です。こちらの面に関しましては、まず1年について は、周りの前の、同じ行為2年度の
1:11:42	連続性であったり、解析の程度であったり、あとは堆積物の状況という ことも踏まえまして、段丘面区分を行っております。
1:11:50	で、こちらに関しましては、
1:11:54	えっとですね副断層がすぐ、
1:11:57	西側に通っておりまして、すべてがその副断層の変位の影響を受けてい るというところまではちょっと言い切れない部分あるんですが、
1:12:08	多少ちょっとそういった影響も、
1:12:11	ありつつ、今低く、あとは初生的にちょっと低かったっていうこともあり つつ、そういった影響で少し低めに見えるのではないかと考えて おります。
1:12:22	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:12:27	はい、規制庁の岡井です。
1:12:30	わかりましたこれもちょっと低いところだったということで、今、こう いった書きぶりになってると。
1:12:37	ということで、
1:12:41	承知しましたんでそうすると一番右側と一番左側の瘤の高さを比べる と、
1:12:48	これはやっぱり福良断層の影響があって、一番左側のものが、
1:12:53	一番右側のものに対して少し高いということっていう、
1:12:58	説明。
1:13:00	でよろしいんですねずっと前のページの説明でいくとこの面もそういう そうなんだということで、
1:13:08	ちょっと改めて確認なんですけども。
1:13:11	よろしいですか。この 160 ページに書いてある説明、一番右と左を比べ ているということよろしいですか。
1:13:20	北陸電力の小林です。はい。今おっしゃられた通り、一番右と左の面を 比べまして、そこでもちょっと高度差があるというふうに考えて、
1:13:31	160 ページの文章を書いております。以上です。
1:13:36	はい。
1:13:37	規制庁のカイダです。
1:13:39	わかりましたそういった状況だということ確認できました。
1:13:44	それであと、
1:13:45	大分飛ぶんですけど、216 ページをお願いします。
1:13:55	これもちょっと資料構成上わかりづらいので、
1:14:01	ちょっとそこを適正化していただきたいという観点なんですけれども。
1:14:09	研ぎ側南岸断層っていうのはずーっとこう、
1:14:12	海の方から続いてきて、
1:14:15	陸の方に伸ばして行って、この辺が延長部ですよっていうところで今、
1:14:20	216 ページのところが
1:14:23	最後の場所ですっていう、
1:14:25	御説明かなと。
1:14:27	考えてます。
1:14:29	で、左側の図で調査位置図っていうふうにあって断層の推定断層の、
1:14:37	線が引いてあって、
1:14:39	で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:41	そのまんま、赤い線を延ばしていくと今泉ほかの
1:14:45	断層の位置で、
1:14:47	それとは別に、重力異常に基づく断層北東たん、
1:14:52	ていうのをこう、
1:14:55	なんていうか、黒い直線で書いた。
1:14:58	ずっと。
1:15:00	伸ばしていったところが、
1:15:03	重力異常に基づく断層北東たんなんだと。
1:15:07	いう説明かなと。
1:15:09	で買って右側を見てみると、
1:15:14	今回ボーリングを掘った場所がIM、ってというのが書いてあるんですが、
1:15:19	IMAってというのが、
1:15:23	何をねらって、
1:15:25	掘ったのかっていうのがちょっとこう、右と左で対応つきづらくてですね。
1:15:30	この重力異常に基づく断層北東たんというこの直線。
1:15:36	のところに
1:15:38	細井タニが、
1:15:39	あるからそこで掘ったんだと思うんですけども、
1:15:43	右と左の
1:15:45	ボーリングの位置の
1:15:48	何をねらって、掘ったかっていうのをわかりづらいんですけども、
1:15:53	なので左側の図にボーリングの位置を書くなり、
1:15:58	右側の図に、
1:16:02	何て言いますかここ。
1:16:03	黒い直線を下書いて、ここなんですよっていうのを、
1:16:08	わかるようにしてそれをねらってボーリングを掘りましたっていうのが、
1:16:13	わかるようにしていただきたいので、左側の図のボーリングの位置だけ見ても、
1:16:18	なかなかわからないのでそこは
1:16:21	ちょっと適正化をお願いしたいんですが、よろしいですか。
1:16:29	はい。北陸電力の小林です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:32	了解いたしました。一応その、
1:16:34	IMのAというボーリングの位置の決め方ですが、今おっしゃられたように、左図に書いてあります点線が、その延長方向に来てると。
1:16:45	ということが一つありますし、もう1点、221ページ。
1:16:50	の方をちょっとご覧いただきたいんですが、
1:16:57	この6Aというところですね、で、こちらで今、
1:17:01	ある程度ちょっと幅広に地質の状況も見て、
1:17:05	地表の実際の状況を見ているんですが、そこでちょっとタニのところが、
1:17:13	右下の断面図にありますタニのところがちょっと欠区間に、
1:17:17	一部なっているということもあまして、そういった意味でも、一応このタニでボーリングを行っておりました。
1:17:26	で、先ほどのコメントの趣旨は理解いたしましたので、
1:17:30	216ページを今言われたように、
1:17:33	少し修正したいと思います。以上です。
1:17:37	はい。規制庁のカイダです。わかりました。であればこの216ページ。
1:17:43	右側の図は露頭が1が書いてあるんでここに、
1:17:48	直線みたいな書き加えれば、その関係とか、わかりやすくなるかなと思いますので、そこはちょっと図を作っていた中で、
1:17:59	わかりやすい図を、
1:18:01	作っていただく、
1:18:02	に修正していただきたいので、よろしくお願いします。
1:18:08	と、
1:18:11	ひとまず、私の方から以上なのでちょっと他の者からの確認もさせていただきます。
1:18:23	タニですけど、
1:18:25	最初なんか金前回のヒアリングから変えたところとして、
1:18:34	これまで断層として福浦断層としていなかったものを福良断層にしましたって、
1:18:40	いう話をしてたと思うんですけどそれって何、何が変わってそうなるのかっていうのもちょっと、
1:18:47	詳しく教えてくださいそれは何か方向を見直して、やっぱり福田断層かもしれないって言ってるのか、性状とかの観点で評価を変えたのかってというのが、ちょっとさ、説明があったのかもしれないけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:00	僕の方ちょっとわかりにくかったので教えてください。
1:19:07	あ、北陸電力の木村です。
1:19:11	前回のヒアリング以降ですね、もう少し幅広い観点で、
1:19:17	ボーリングを見まして破砕部を再評価した結果、二つの破砕部が、
1:19:24	福田断層に対応するというふうに、今回評価を見直したものでございまして、
1:19:30	ちょっと 82 ページの断面図、
1:19:33	ご覧いただきたいんですけども、
1:19:37	82 ページの、
1:19:39	下の断面図で、
1:19:41	赤線 2 本書いてある、左側の赤線が福田断層西側の
1:19:50	ベースになりますけども、
1:19:52	前回のヒアリングでは、
1:19:55	福田断層西側の傾斜角をもう少し高角であるというふうに想定しておりまして、
1:20:02	S3'孔、この真ん中の丸の位置で、確認してたんですけども、
1:20:08	これがもう少し広角であるという想定をしていて、下のOS2行は、
1:20:15	もう少し想定 of 1 から西側にずれていると。
1:20:19	で、
1:20:20	OSの
1:20:22	急行はちょっと想定位置から東側にずれているということから、
1:20:30	浦断層の西側に対応しないというふうに、幅広にっていうのはあれですか見つかったところから、次のところまでの範囲を
1:20:40	前事にしてたんですかねそれを 10 度にしたとかそういう話なんですか。
1:20:47	そうです。今回 10 度というルールでちょっと幅広に見まして、そのルールで見ますと、こういうSDとSQがそれぞれに引っかかってきますので、
1:21:02	観点から、
1:21:05	ユーザーと判断したというものになります。
1:21:08	以上です。はい、わかりましたそれあれですね負担、二つ見直したって言ってたけど二つともそれが理由で、
1:21:16	変わってるっていうことでいいですね。
1:21:20	そうです性状とか総合傾斜とかは、もともと、福田断層、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:25	ほぼ対応するというふうに見てましたけども、確認した位置を見ると、幅広に見ると、
1:21:34	豊田断層の延長位置に当たると。
1:21:38	いうふうに考えられることから、福田断層というふうに見直しましたということです。
1:21:43	はい、わかりました。
1:21:45	事実関係はわかりましたんで、
1:21:47	そうなってくると、今度は中重度で十分なんだっていうのは何かこう、
1:21:53	前回合同にして、10度にしたらちょっと断層評価変わるよと。
1:21:58	これはジュウドっていうのが、
1:22:01	適切な
1:22:03	んですかねなんか、この自由度っていうのが適切って思ってる理由っていうのを、
1:22:08	ちょっと教えてください。
1:22:11	北陸電力1社です。
1:22:13	28ページの方をお願いしたいんですけども、
1:22:20	前回のヒアリングでは、傾斜5度の範囲で、確認していますということをご説明させていただきました。
1:22:27	一応その後どの範囲という、もともとの根拠としていた理由としましては、敷地内の断層の傾斜的な分、大局的な無礼が概ね、
1:22:37	±5°であったことから、
1:22:40	それに準拠して5度ということでやっていたと。ただ今回、幅広というか福浦断層に特化して、こういう、
1:22:50	どれぐらいのぶれを見るべきかということを考えたときに、大局的な傾斜方向のぶれというものを見ますと、反射法地震探査、
1:22:59	経営者、大局的な傾斜がわかっておりまして、そのぶれの大きさが、概ね平均が大体70°前後になりましてその分例を見ますと大体±10°の範囲で、
1:23:11	経営者がブレが取れているということがわかりましたので、
1:23:16	わかっておりますので、福田断層に関しましてはこの傾斜±10度の範囲を見れば、十分カバーできるだろうと。
1:23:24	ということで、今回10°の範囲を見て、このS2度をS9を、再評価したという形になります。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:32	はい考え確認できました。あとねこの±10° っていうのは、何の受刑者だけを 10° を振って、それを着傾斜で、
1:23:42	断面図上で確認しているってことなんですかそれとも断面図上で、もう着傾斜の範囲で 10 度を確認するっていう。
1:23:50	どっちの話なんですか。
1:23:54	断面図上で偽計者。
1:23:58	を書いた後に、その着傾斜方向に±10° 振って確認しているということになります。
1:24:06	はい。やってる処理わかりましたそれはあれですよ断面がある程度。
1:24:11	断層と、何ていうんすかね、高角度でマジあうような方向だから、ぎ傾斜で見たんでいいだろうみたいな考え方っていうことなんですよ。
1:24:24	はい。その通りです。
1:24:25	はい。確認できました。
1:24:28	あとねちょっと細かい話も前回のヒアリングで僕が確認したので、
1:24:34	書いてくれてるものの確認なんですけど 33 ページで、
1:24:38	穴曲がり測定の話をしていますんで、これちょっと何点か事実確認として、敷地内ではプラスマイナス 1.5 でしたよ。
1:24:49	っていうのは、実際測ってみて敷地内ではもう曲がってなかったから、
1:24:53	あんまり関係ないよと。
1:24:56	いう話をしてて、
1:24:59	だから今回の敷地周辺では、この間、何かやってるようなこと言ってましたけど、ほとんどやっていないんで、
1:25:07	ただし、必要と判断した場合は実施すると一部はやっているっていうふうに、そういう記載だと思うんですけど。
1:25:15	まずもって僕は
1:25:17	前回確認した趣旨としてはこれって、斜めボーリングだから、だから、何か
1:25:25	一般的にこう斜めボーリングで曲がりやすいのですね、その辺どう考えてるんですかっていうところが聞きたかったんですけど、この実績っていうのは、やっぱり
1:25:37	敷地内で斜めボーリングとかを見てもこんな
1:25:41	程度だったっていうことで理解していいですか。
1:25:51	北陸電力 1 社です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:53	前回のヒアリングで、私、そのM A R I C Oの近傍においても高まり計測、実施した旨のような説明をしてしまったんですけども、ちょっと今回、確認した結果、
1:26:04	大前計測しておりませんでした。
1:26:07	これにつきましては、もともと敷地内でも、高まり計測すべてでやっているわけではなくてですね、
1:26:14	長さが長い 100 メートルを超えるような、長さの長い斜めボーリングであったりですとか、短いボーリングがあっても例えば地下の構造物が近接してあるようなところ、
1:26:25	では、に計測を実施していたと。
1:26:28	この今回のこの福浦断層関係の近傍のボーリングにつきましてはまず地下構造物、この辺にはないということを確認しておりますし、概ね 100 メーター未満の短いボーリングであると。
1:26:41	ということから、に計測を、
1:26:44	きていなかったというのがまず事実としてあります。
1:26:46	この敷地内での実績の 1.5 度につきましては、もともと、
1:26:52	我々、周りの管理値としましては、概ね 3 度ぐらいというものを、一つの曲を大きくなるような値として、一つ目安としておりますけれども、
1:27:05	敷地内の実績、これ、1.5 としておりますけれども、実際これ、最大で大体 1.5 度なので、実際はもっとかなり小さい 0.7 度というような、
1:27:15	経営者の無礼というのが実績となって来きます。そのため、敷地内と同じ穴水累層で掘っているということもあまして、この敷地近傍では、曲がり計測を実施していなかったと。
1:27:27	ということが事実関係で、実際のところ、ほとんど曲がっていないのではないかとというのが我々の
1:27:34	感触であります。以上です。
1:27:37	規制庁タニ末と、
1:27:39	プラスマイナス 1.5 度の実績の中に斜めも入ってて 1.5 度ぐらいだったっていう。
1:27:46	ことでいいんですかね。
1:27:48	これは斜めボーリングだけの実績を整理させていただいてます。そういうことなんですネさらに小さくなるということになりますそれちょっと変えたほうがいいと思いますよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:59	わかりましたわかりましたんで、すべてはやってないけど一部はやってるってことなんですか。今回、
1:28:08	今回もですね今回、実際曲は実際やっていないんですけども近傍においてももともとそのやる条件としましては、やはり斜めでかなり上がってきますと、掘りにくくなったりですとか、
1:28:20	そういうことで、オペさんの方でわかってきますのでそういう時はこのままにやるというような資料になっておりました。以上です。わかりました。33 ページで言ってるのは敷地近傍では、に実施って書いてあるのか。
1:28:35	これあれですか、掘削状況で必要と思ったときはやることにしてたんだけど、
1:28:41	やってないんだよ、そういうことがなかったよっていう意味ですねこの記載は。
1:28:45	その通りです。わかりました。
1:28:48	で、さっきの重度の話っていうのも、何かこれと関係あるのかなってちょっと思ってたんですけど、これ、これはこれですねな曲をしていないから別にもうちょっと幅広に見たとかそんな話じゃなくて、
1:29:01	ただ単に、
1:29:02	この
1:29:04	斜めだからといって特に考える必要がなくて、
1:29:10	と、ただし、
1:29:13	98 ページの中では反射法地震探査のデータとか見てみるともうちょっと幅広の方がいいだろうっていう判断をして、 $\pm 10^\circ$ にしたっていう、そういう理解でいいですかね。
1:29:25	はいその通りです。
1:29:28	はい、わかりました。
1:29:30	あとですねさっき海田さんも聞いてたんですけど 166 ページの、この辺の話が、
1:29:37	もうちょっと私も気んよくし知りたくて、
1:29:42	これまず 166 ページの、何て言うんすかね。
1:29:46	下が、下流側が直線になってくると。
1:29:50	その上流側も、
1:29:53	直線的な崖地形が、その要因がなくても続くんだと。
1:29:58	言った説明にこう聞こえたんですけども、この辺って何かこう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:30:03	知見みたいなのが、何かあったりするんですかそれとも北陸電力として、
1:30:11	ここ、こういう、
1:30:13	物理下、原則としてこういうことなんじゃないのかっていう、
1:30:18	推測なんでしょうか。
1:30:21	福浦断層に、西側の下盤側の地形の形成過程っていう、この辺の話ですけど、
1:30:32	あ、北陸電力の木村です。
1:30:36	そう。
1:30:38	断層の延長位置が攻撃斜面で削られやすいというのは、知見等であると思いますが、
1:30:47	こういう斜面だと削れやすいというのは、
1:30:51	一般的に言われておりますが、そういったことを踏まえて、当社として、
1:30:59	この地形、
1:31:01	の成り立ちをどういうふうに考えたら良いかということを検討した結果がこの166ページになります。
1:31:09	断層の分布している。
1:31:11	ところについては、変質部の境界、
1:31:15	が見られますので、それを境にした差別浸食という説明。
1:31:21	が、できるんですけども、
1:31:23	断層がずっと追っかけに沿ってずっとあるわけではないので、
1:31:29	その断層のないところでは、どういうふうに学研ができたのかということを見ると、金斜面にあるということで、
1:31:41	の下流側の崖と連続する方向に侵食が進んで、
1:31:46	一定掛けな成長していったのではないかというふうに考えております。
1:31:52	以上です。
1:31:53	丹です。
1:31:54	はい、わかりました。攻撃斜面削られやすい状況が、その断層の端部でできているから、
1:32:04	それがもうちょっと上流まで、
1:32:07	削ったよということなんですけど、それが何か直線的になるのかどうなのかっていうと、
1:32:12	ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:13	うん。うんっていうのが気になって聞いたんですけど。はい。
1:32:17	お考えの状況わかりましたんで、さっきのカイダさんが聞いたのと似たようなことなんですけれども、これってただ断層がこう、
1:32:25	断層ができた後に、変質ができているのであれば、
1:32:32	何ていうんですかね変質部って。
1:32:35	断層がなくなったから、そこでパチッと止まるっていうふうな考え方なんです。それをこうなんかもうちょっとこう割れ目に沿って同じような方向に、
1:32:45	言ってるのかもしれないとか、さん、ちょっと思ったりもして、
1:32:51	で、だからその 167 ページでどこが、北陸電力を編集
1:32:57	演出ってのはどここの範囲なのかっていうのをちゃんと、僕もこの S Q の中で、
1:33:02	見たいなっていうふうにも思ったり。
1:33:06	していますので、これも栗城カイダさんの繰り返しになるんでちょっと変質がどこにあるのかっていうのは、私も
1:33:13	確認したいなと思っています。
1:33:21	北陸電力の木村です。断層の後に変質があったというふうに考えておりました、断層、
1:33:31	がないところにも、変質は当然、
1:33:35	じわじわとおよんでいるというふうに思っております。ただこの断層のあるところについては、この断層、大賀、
1:33:45	遮水壁のようになりまして、断層を境に、はっきりとへんし、
1:33:51	熱水が、
1:33:52	回ったところと回らないところっていう余りに演出境界になって、断層を境に、
1:34:00	演出の境界になったと。
1:34:02	ということが考えられますが、断層のないところについては、そのような境界がないので、じわじわと、
1:34:09	全体、
1:34:11	的に少しずつ変質がおよんでいたというふうに考えております。
1:34:17	あとその変質の状況についてをもう少し、
1:34:22	柱状図等、記載充実させて、わかるようにしたいと思います。以上です。
1:34:29	規制庁タニさいお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:32	あとですねさっきの 160 ページで 162 ページの、
1:34:37	確認のお答えを聞いてて思ったんですけども、これって、そのそもそ も段丘面を認定するときに、
1:34:45	ちょっと低いものを、
1:34:47	ちょっと低い面があるのも、
1:34:49	おんなじ H2 段丘面だと、こう、
1:34:53	P1B だったり、1、
1:34:56	2 段丘面なんだっていうふうな判断を
1:35:00	していると、そのもう読む時点で、そ低くてもこの段丘面に徹している わけなんです 162 ページ。
1:35:10	その時に、こういった
1:35:15	この辺りは、
1:35:17	ちょっと低いんだけども、
1:35:19	地形形成時に標高が低い部分であった可能性であると、そんな考えで も、もともと段丘面区分図を書くときに、そういう考えをしていたって いうことなんですよね。
1:35:33	北陸電力の小林です。衛藤。今、
1:35:37	おっしゃられたように、段丘面、すいませんもちろん、言わずもがなと 思いますが、必ずしも同じ兵庫できちっとやってるわけじゃなくてある 程度高さに幅を持って、
1:35:49	革命ができてますので、そういったところで、一番下の面との関係だっ たり、あとは底方向の連続性であったり、
1:36:00	ということを、
1:36:01	踏まえまして、そういった区分をしているということになります。以上 です。
1:36:08	はい、谷井です。はい。所状況確認できましたというか、
1:36:14	何か
1:36:16	うん。162 ページの段丘面なんて、
1:36:19	認定しないっていう発想もあったんじゃないかなとちょっと思ったんで すけれども。
1:36:24	そうじゃなくって、
1:36:26	その周辺の、
1:36:28	並びとかをちゃんと確認してここに段丘面が、の高さでおかしくないん だっていう、そういう判断をしてるっていうことかと思う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:36	理解しましたので、はいわかりました。
1:37:00	規制庁谷です。さっきのね、160 ページの、
1:37:04	166 ページの話の、
1:37:07	あれですか、この、
1:37:11	ここで言ってる変質っていうのがまさに鉱物脈法で使ってる変質、
1:37:18	ここで書いてる後で全体的に変質っていうのが、鉱物脈食うを今回確認したという変質とおなじ時代の話をしているということではないんですか。
1:37:34	小瓶電力キムラです。はい。同じ時代の変質であるというふうに考えております。以上です。
1:37:45	はい。確認できました。
1:38:04	規制庁佐口ですけど、1 点だけ
1:38:07	確認させていただきたくて、今日もご説明あったと思うんですけど 81 ページからの、
1:38:14	結局福浦断層の南部のもう端部の止めなんですけど、結局、
1:38:20	東側西側って当然あって、それぞれ結局どこで止めてるのかっていうのが実は私よくわからなくてそれ、
1:38:29	ちょっと教えていただきたいんですよ。というのは、
1:38:33	例えば東側だと、
1:38:35	上から順に見ていくと S4 までは、福浦断層として確認をされていて、
1:38:41	F 1'これ今回、今回なのかな少なくとも前回の会合のときはここは、
1:38:48	今日ご説明あったんですけど福浦断層、
1:38:51	という形で示されてたんですけど、
1:38:54	今日もご説明あったようにその次の、
1:38:57	F D6 という項で、
1:39:00	対応するものが認めないられないということも踏まえて、この F 1G ' っていうのは福浦断層ではありませんっていう評価を、今回されたっていうことなんですけど。
1:39:12	いわゆる点線というのが破線、
1:39:15	示されているのは、F 1'まで、
1:39:19	一方で、西側っていうのは、
1:39:23	F D 級っていうところまでは確認をされていて、
1:39:27	当然 F D9 のところまでは、
1:39:31	破線、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:32	になっているんですけど、その南様はこのF D1 なんですかね。
1:39:38	というところでは認められないので、ここは、
1:39:42	このF D9 なのかF D1 なのかどっちを田んぼにするのかっていう話ですね。
1:39:47	その間って話もありますし、で、
1:39:50	ちょっともっとノルマ戻りますけど東側、
1:39:55	じゃあ今度A棟をS4にするのか、F1'にするのか、その中間にするのかわかりませんが、いずれにしても今ちょっと西と飛田東出
1:40:07	判断の、
1:40:09	何ていうんすかね、ポイントというのが、若干違うように見えるので、そこはどういうお考えなのか、もしくは、
1:40:18	ちょっとその端部の認定、
1:40:20	どうするのかっていうのを教えてください。
1:40:26	北陸電力の木村です。端部の認定につきましては、断層が確実に認められなくなる地点を端部というふうに、我々評価することとしておりまして、
1:40:39	東側につきましては、
1:40:41	S4まで断層を確認したんですけども、その次の、
1:40:45	F1'とF D6、F1'とF D-がほぼ同じ位置でございますので、ここで、
1:40:53	東側に対応する断層は認められないということをもって、
1:40:57	この地点、F1'とF D6の地点を
1:41:03	浦断層東側の端部というふうに評価をしております。
1:41:07	西側につきましても、F D9までは、断層を確認しておりますが、
1:41:13	その延長位置のF D1 個の線をまっすぐ延ばしたいってのは、F D1 に当たるんですけども、
1:41:21	ですとかその周りのルートマップF2も認められないということで、このルートマップFですとか、F D1 の、この地点を
1:41:33	クラークの東側の、
1:41:34	南端は布田断層西側の檀丹というふうに評価をしております。
1:41:40	ちょっと、どこを南端と評価したということがはっきり地点名で、
1:41:46	わかるように、
1:41:49	資料上した方がわかりやすいと思いますので、そのように修正したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:57	はい。規制庁佐口ですわかりました。なので例えば 81 ページとか次の 82 ページでもいいんですけどこの図面ですね要は
1:42:06	調査位置図と書かれている図面の、いわゆる波線のところは、特に西側については、
1:42:13	この F D 位置まで伸びる。
1:42:15	そういう理解してよろしいですか。
1:42:20	はい。北陸電力の中田です。
1:42:22	今 81 ページの調査位置図等でその点線と破線、2 種類書いてございますが、
1:42:29	浦邊のこれまでの記載のルールとしまして、
1:42:34	この赤矢印で書いてあるところをここは実際に断層につけたところになります、そういったところを結ぶ際には、この点線を少し、
1:42:44	大きな太い点線で書いております。
1:42:47	また後、リニアメント変動地形が判読されているところにつきましても、その走向に沿いまして、こういった太い点線を記載しております。
1:42:57	で、細かい線につきましては、
1:42:59	例えばその F D 9 のさらに南へ細かい補正につきましては、F D K までは確実に断層ありましたが、その先っていうのは、実際断層に受けたわけではなくて、
1:43:09	F D 1 でしたがこういったルートマップこちらで断層がないことを確認しております。
1:43:14	とはいえリニアメント変動地形も判読しておりませんので、こういったところは、単純に、その先って実際ば取りついこちらでも処理するので、こういった細かい破線を書いております。
1:43:24	衛藤福田断層東田につきましては、O S L では破碎部につきましたが、その先の F 1' F D 6、こちらにはなかったんですが、これまでに変動地形を判読しておりまして、
1:43:35	それに沿いましてこういった太い点線を書いております。
1:43:38	福田断層の東方西側の端部の書き方の違いってのはそういったルール、
1:43:43	に基づいたものになっております。
1:43:46	以上です。
1:43:50	はい。規制庁佐口です。少なくともですねそれだと、ちょっとやっぱりわかりづらくてですね。そうすると、
1:43:57	例えば、今そういうご説明ありましたけど東側って結局、不一致。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:04	F'、うん、F1'とかFD6ですよね。ここはないっていう、評価をされているんですけど。
1:44:11	でも、ここで、何て言うんすかね。もう推定でも何でもなく、完全にここで
1:44:17	止まっているのかどうかっていう話ですよね。で、F、ごめんなさいのF、S4っていうのは、もうこれは確実にあったという。
1:44:28	そうするとこの途中で多分なくなってるのかなと普通はもう思うんですけども、でもそのリニアメントの関係上は、ここは推定でもなくちゃんと断層あるんだよと。
1:44:41	そういう形で示されているっていうご説明だったと思うんですけど。
1:44:47	そこが少なくとも、
1:44:49	わかるように書いていただくのか、それとも、当然、
1:44:55	F、B、
1:44:57	6とかF1'っていうのはもうここはないので、その前で確実に確認をされている。
1:45:05	S4までを河川、河川というか、ここまでちゃんと確認できてますよと、その先はちょっと推定ですよっていう形にするのか、そこは
1:45:19	少しですね整理をして、わかりやすく少なくともを示していただきたいと思いますんで、よろしくお願いします。
1:45:27	はい。北陸電力の野原です。今ほどの佐口さんのご指摘理解しましたので、そういった趣旨で、少しこのトレースの書き方は検討させていただきたいと思います。
1:45:36	以上です。
1:46:04	規制庁のカイダです。規制庁のニシキさんの方から何かあれば、確認お願いします。ありますか。
1:46:15	規制庁のニシキです。
1:46:17	私の方も大体166ページの断層に関するところが気になっていたんですけども大体あの、カイダさんと谷さんの方から、
1:46:27	質問いただいたところなんですが1点だけちょっと私の方から、
1:46:30	確認したいのは、その166ページのところのポンチ絵の地形形成のところで、
1:46:38	もともとその安山岩と凝灰岩というものが、こういった何か垂直方向に立った関係で、地層が形成されたというふうに、北陸電力の方は考えてこういったよう書かれているという理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:11	北陸電力の木村です。
1:47:16	断層のところですけども、基礎掘削面でも、ボーリングでも同じように、
1:47:23	安山岩下盤側の安山岩で上盤側凝灰限り議案という関係になっておりますので、
1:47:30	もともとんな、
1:47:35	縦方向の岩相境界があって、そこに断層が形成されたのではないかというふうに考えております。以上です。
1:47:47	規制庁ニシキです。これは特に断層でずると移動してきて、こういった隣同士が違うような感想になったというふうには思っていないということによろしい。
1:47:57	ていうふうに理解しました。あともう1点ですけど、この辺のマップのお話先ほどカイダの萩谷さんの方からも話。
1:48:07	あったと思うんですけども、結構上盤側コーナ崖作るようなものを、これぐらいの規模の凝灰角礫岩があるような気がするんですけど御社のマップを書くルールというところで、
1:48:22	この
1:48:23	この169ページの絵で見ると100メートルぐらいのが、団体で高さ30分間あるようなところも、マップ上は、
1:48:34	ここはピンク、安山岩というふうに塗るような、ぐらいのものだというふうにして全体の実数が書かれているということに理解しておけばよろしいですか。
1:48:51	北陸電力の木村です。そのような理解で、
1:48:58	良いと思ひまして、断層の上盤側は、凝灰角礫岩っていうふうに確認した時点では凝灰角礫岩なんですけども、
1:49:09	ボーリングの方、断層、
1:49:12	大野上盤側ずっと見ていきますとずっと凝灰掛け金案が続いているわけではありませんで、安山岩と凝灰角礫岩と交互に出てくるような、
1:49:23	状況となっておりますので、
1:49:25	全体と見れば
1:49:29	このエリアは暗算が卓越していると、いうことで、
1:49:34	地質上は安山岩というふうに、
1:49:37	図示させていただいております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:49:42	規制庁一色です。わかりましたそういったところでもともと上盤側がそういった安山岩とか凝灰云々のが暴走してるようなようなところに断層があって、
1:49:54	それで北西側の断層の北西側のところだけが安山岩だったり凝灰角礫岩があるかもしれないですけどそっち側のみが品質を受けていたので、北西側だけが工程進捗できたというふうにしてこういった地形ができているという、
1:50:09	国、理解しておけば間違いないですかね御社の主張という意味で、
1:50:15	はいその通りです。
1:50:19	わかりました。私の方からは、確認したかったというのは以上です。
1:50:26	はい、規制庁のカイダです。
1:50:32	今の、
1:50:34	確認の後 166 ページのところなんですけれども、
1:50:42	形成過程っていうのは、江川のところですね多分ニシキさんの確認っていうのは、
1:50:49	これもともと地質境界のところかテス境界なりにずれて、今、安山岩と凝灰岩が接しているような、
1:50:56	解釈になってるけれども、
1:51:00	もともと別のところにあって結果として今、安山岩と凝灰角礫岩が断層を介して接している。
1:51:07	今わかるのは、安山岩と凝灰角礫岩が安産
1:51:12	この両方の地質が断層を介して接してるっていうところ。
1:51:16	はわかるけども、この前二つのところっていうのが本当に来こうなのかっていうところだったかなと思うんいう質問だったと思うんですね。
1:51:27	この
1:51:30	地質調査の敷地の名の中の地質調査の結果とか、
1:51:35	から、この辺りの断層っていうのはもともとの地質境界を使って、何て言いますか、できてんだっていう、そういったデータとか根拠っていうのがあるからこういった解釈なんですか。
1:51:49	何か今ちょっとこう、そう考えてますというところはわかるんですけども。
1:51:53	この何で1から2に行くのかっていうところの説明がちょっとわからなかったんですけども、別にそれが駄目っていうわけではなくてなんか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:03	そういった根拠があって、そう解釈されてるんであれば何かお聞かせいただきたいんですが。
1:52:21	はい北陸電力の吉田です。
1:52:24	はい。今ほどの危険ですけれども、確かにですね、もともとの
1:52:33	その願書の仕上げて、凝灰角礫岩がですね断層の仕上げて1性のものかと。
1:52:38	いう判断が一つあるかと思います。ただし、ここの全体的なこれ解釈ですけれども、全体的な広がりを見ますと、やはり言いましたように数百メートル300メートル程度の
1:52:52	長さだと、いうこと、あとは、薄片データもお見せしましたけれども、あまり大きく動いた痕跡が、複数回動いた痕跡が断層にはないと。
1:53:02	で、これ仮にですね凝灰角礫岩が申し上げて、基礎の育成の移動してきたものであれば、もっと面的な広がり長さもあるでしょうし、薄片の見方も、
1:53:14	ちょっと違うでしょうし、ということで、このもともところに岩種の境界にあったところを、相対的な弱部といいますかそこを、あの後、両脇、
1:53:26	小さくずれ動いて破砕部になったというふうな、これ解釈ですがそういった全体の状況地質の状況を見ながらそういうふうに解釈しております。
1:53:35	以上です。
1:53:38	規制庁の甲斐ですかわかりましたそういった解釈でっていうことで、今ここに書いてある。
1:53:45	ところが承知しました。
1:53:48	で、私の方からちょっと数、数、
1:53:54	資料の構成について、ちょっと改めて確認なんですが、
1:54:01	これ、前回前々回のヒアリングの時は、この冒頭に、全体的な地質の
1:54:09	図とか、段丘面区分図とか地形地質の、
1:54:14	全体的な説明っていうのがあったと思うんですけど。
1:54:19	これは
1:54:21	19ページでいうと目次のこの今薄くなってる、1ポツ1とか、
1:54:28	でもその辺りとか、
1:54:30	あったと思うんですが、
1:54:32	これは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:37	どうどうなんですかねなくなっはいるんですけれども今回コメント回答の資料だからってということで、その辺りはもう、
1:54:44	会合でももう、はい、入ることなくて、このコメント回答部分だけでいくっていう構成なのか、それは
1:54:53	今今回いろいろこう、
1:54:55	差分ごとに資料提出されてるところもあるので、そこはそこでまた入るのか、どっちなん、別にどうどうしろということではないんですけども、
1:55:06	気になったので確認するだけなんですけどいかがですか。
1:55:15	はい。北陸電力の野原です。
1:55:17	今ほどもともと1回目の左につけてまして、今回外しておりますのが、19ページの目次で言いますと、一緒に、
1:55:24	それが2.1章に該当するところになると思いますが、これらについてはもともと主張してる内容、今回、このコメント回答の中では変わりませんので、
1:55:33	審査会合におきまして、これらは省略した形で出させていただきたいなというふうに考えております。
1:55:40	以上です。
1:55:42	はい。規制庁の甲斐です。わかりました。今、今、今回の本資料のようなのがイメージだということで、
1:55:51	作られて今回の今日の
1:55:56	確認を含め踏まえて、一部修正するけども全体構成はこうだということですね。
1:56:03	あと、
1:56:04	データ集とかは、追加だとか、差分の部分を追加されてんですけども、
1:56:11	これはもともと、
1:56:13	あった、初回のヒアリング、
1:56:16	結構分厚いのが出てたと思うんですけどもそれに合体するような形で、後から出てきたものも一つになるというイメージでよろしいですか。
1:56:28	はい。北陸電力の野原です。レーダーにつきましてはそのような構成で考えております。
1:56:33	以上です。
1:56:40	規制庁名倉です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:43	質問です。98 ページ。
1:56:47	前回のヒアリングから今回のヒアリングにかけて、こちらの指摘事項を踏まえて方針を変えてその結果として、
1:56:57	断層の評価が若干少しく変わったというところなんですけど、
1:57:04	この注記のところ 2 番、
1:57:08	これって非常に重要な情報なんですけどこれを注記に書くっていうことの意味というか、
1:57:15	何で何で注記に書いてこれを処理するっていうことにしたんですかっていう理由をちょっとお聞きしたいんですが。
1:57:48	北陸電力の野原です。
1:57:51	98 ページにつきましては、まず言いたいことというのが上の四角の丸二つ。
1:57:57	に書いております。どのようなものを基準として、こういった範囲を対象として福田断層に対応するかの検討を行ったという 1 マル目、
1:58:05	そして
1:58:07	次のページですが右の下表に結果を示すという、この二つの丸が、この資料で言いたかったこと。
1:58:13	に該当しますのでまずこの二つの四角に書きました。
1:58:16	これにつきましても重要な情報ですので、今回こういった※2 という書き方をしておりますが、
1:58:23	非常に我々もこれが重要な情報だと思っておりますので、上の四角に入れ込むなり、ちょっとまたこの※ではない書き方をするなり、そういった書き方は検討させていただきたいなと思っております。
1:58:37	以上です。
1:58:40	規制庁の名倉です。
1:58:44	質疑でいろいろと確認していく中で、私たちが確認してる内容っていうのは、
1:58:50	おそらく、
1:58:54	評価上重要な方針とかそういうものについて不明確な部分について確認をしていると。
1:59:00	いうことに相当します。
1:59:02	これを、介護までに反映してくださいとは言いませんけれども、
1:59:09	何て言うのかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:10	サグチからお聞きした止めの話もそうですが、方針が不明確だから、事実確認で聞いているというふうに解釈していただいた方がいいかなと思います。
1:59:22	そういう意味で、どういうふうに、
1:59:25	何て言うのかな、
1:59:31	ヒアリングでのコメントを踏まえて、資料構成を作るとかもしくはそのコメント回答のときに、どういうふうに資料をわかりやすく作っていくかっていうところに関して、
1:59:43	何を目的に、
1:59:46	今回、
1:59:49	何ていうかなコメント回答をするのか。
1:59:51	そのときに、
1:59:53	その目的を達成するための、
1:59:56	方針。
1:59:57	としてどういう方針を述べておくのか。
2:00:00	そういうものが、構成として頭にきて、頭に来ておりません。怒ってるっていうんじゃなくて上の方に、なるべく上位の方に、最初に説明されてそれに基づいて、
2:00:11	方法と結果プロセスが説明されていくという流れをとるのがやっぱり一番わかりやすいと思いますので、今後の資料の作成で心がけることとして、
2:00:23	ちょっとそういうところ、そういったところを意識していただきたいなと思います。
2:00:28	これはちょっと今後浜岡とかでいろいろと、
2:00:31	これまでも浜岡とかでいろいろと言っていることですがけれども、この辺のところをちょっと意識して資料を作っていただきたいと思います。
2:00:41	介護までに資料を改善することを要求しているものではありませんので、今後留意していただければということで、あえて、指摘をしました。以上です。
2:00:53	はい
2:00:55	北陸電力吉田です。ありがとうございました。
2:00:58	えっとですね、今ほどの小沼さんの、
2:01:01	コメント。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:02	もともとですね、ちょっと 80 ページを見ていただきたいんですけども、我々もともと福田断層の南について、
2:01:12	調査をするということをですね説明して、
2:01:15	このページはですね、こういった形で追跡するのだと、これもご指摘をいただいて、後からつけたものです。ここでですね、どういう観点で、
2:01:26	北から南追っていくのかというのを考え方と、評価の流れをしっかりとここで書きました。我々として徹底的に南の方に追跡していくという表示をしたんですが、
2:01:39	本当にここで一番大事な、例えばですねこの一番右の下の、
2:01:44	括弧挙げてステップ 24 以降の文章があります。ここで買う、一番下の 98 から 101 というところで、今ほどの※に飛ぶようにしてます。ただし、
2:01:54	5 精神論的じゃなくてやはりこういうところに、その具体的な追跡のルール、定量的なものがあれば、書くべきだというふうに認識してますしそういったところがしっかり審査していただく。
2:02:07	大事だと認識がやっぱりしましたので、会合までにちょっと資料反映できるかどうかわかりませんが、これからはそういうことをしっかり認識して、資料に反映していきたいと思います。以上です。
2:02:23	規制庁の名倉です。今後、いろいろと対応をしてくださるということは理解をしました。
2:02:32	別にあの会合までにすべて直す必要はありません。逆に、
2:02:37	おそらく介護でそういったことことも、質疑の中で指摘が出るかもしれないので、そのときの対応としてしっかり取り組んでいただければそれで良いと思います。私からは以上です。
2:02:52	はい、承知いたしました。
2:03:22	あ、規制庁タニですけど。
2:03:26	介護、
2:03:27	開放。
2:03:30	今月中にも資するとしてですね。
2:03:33	今なんかスケッチに追加してるっていうのがあると思うんですよね。
2:03:38	で、
2:03:39	そそれを早くそ、そのデータの追加があるんだったらデータを早めに出して欲しくて、
2:03:45	例えば今週中特区。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:48	ここに、
2:03:49	対応できるんですかね。
2:03:51	恩田の資料。
2:03:53	はい。北陸電力の吉田です。助っ人につきましても、もう今週中に確認 いただきたいというふうに思っております。
2:04:06	具体的なその会合に向けての資料の提出っていうのはですね別途連絡し ていただけたらと思いますので、資料としては今週中には、
2:04:16	整理できるということで理解しました。
2:04:22	規制庁のカイダです。今のスケッチを含めてもろもろ修正点あったと思 いますけれども、
2:04:29	今月末ぐらいには会合を考えているので、その提出をしていただくとす れば今週中もしくはも週明け、
2:04:39	週1番でっていう形になりますけれども、
2:04:44	難しいところがあれば、全部が全部入ってということではなくて、もうそ の時間には間に合う形でということになると思いますが、
2:04:56	スケッチは対応できると、他のところとかはいかがでしょうか。
2:05:03	はい。北陸電力の吉田です。スケッチに関しましてはやはりこれ重要な データですので、今週中に確認いただきたいと思います。その他、もう 少しわかりやすくしたいというところが数ヶ所ありましたので、
2:05:17	できればこの辺はレベル2、責任のもと直させていただいて、来週月曜 日早々にですね、
2:05:26	資料を確認、資料入れするという形でいかがでしょうか。また他の修正 箇所もあわせて確認ってなれば、
2:05:37	今週、何とか週末に考えてますが、まずはスケッチの決定の見込み者 と、
2:05:42	いう形でいかがでしょうか。
2:06:06	はい。わかりました規制庁の甲斐です。今週中っていうところじゃなく てやっぱり入念にちょっと確認等いただいて週明け月曜日に、
2:06:17	ちょっとそろえて出していきたいので、それでよろしいでしょ うか。
2:06:24	はい。吉田です。それをスケッチもあわせてでしょうか。
2:06:30	あれですかね、スケッチ、資料をそろえて会合用の資料という形になろ うかなと思います。また番号とはまた、
2:06:41	お伝えしますけれども、そうですね。中身順調に別途、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:45	改修等に別途確認いただきたいというのが、例えばスケートとかですねあと柱状図、演出のお話もありましたけども、そういった重要なものがあれば、ありますので、その辺は今週中に、
2:06:59	できれば確認いただきたいと、逆に用意でき、できるんですけども、いかがいたしましょうか。
2:07:08	規制庁のカイダです。その辺も含めてですね、もう資料にさせていただいて、月曜日に介護、まとめてもう提出いただいて、
2:07:19	ちょっと微修正とか、
2:07:21	あるかもしれませんけれども、
2:07:24	大きな話であれば、会合のときに申し上げますし、その辺はもう、次回はまとめて提出いただきたいと思いますけども、よろしいですか。
2:07:35	来週で月曜日で結構です。
2:07:39	はい。北陸電力吉田です。かしこまりました。そうしましたら今週中にですね、しっかり資料を準備いたして、来週と時間はですね、またタニグチの方と、
2:07:50	調整いただいて、できるだけ早い月曜日の早々に提出したいと思います。あと右肩の番号であったりとか、そういったものをまた調整させていただきたいと思います。
2:08:00	以上です。
2:08:01	はい。規制庁の甲斐です。細かい点はまた事務的なことで調整したいと思いますので
2:08:08	先ほど申し上げたようによろしくお願いいたします。
2:08:11	その他、今日のヒアリングで通して、北陸電力の方から何か確認をしたいことございますか。
2:08:25	はい。ございません。以上で終わってよろしいです。
2:08:29	はい。規制庁のカイダです。それではですね志賀原子力発電所2号炉、敷地周辺の地質地質構造、
2:08:36	敷地近傍の断層の評価のコメント回答についてのヒアリングは、
2:08:42	終了したいと思います。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。